

第8回新生児スクリーニング全国ネットワーク会議 プログラム



2025年2月7日(金) 13:00~16:20 ハイブリッド形式

現地会場 AP日本橋 Gルーム 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6階

司会進行：但馬 剛 (国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室・室長)

参加者：新生児マススクリーニング関連部署、自治体中核医師、自治体担当者、その他

会議概要説明とあいさつ

13:00~13:15

13:00-13:05	開会のあいさつ・概要説明	大浦 敏博 (日本マススクリーニング学会・理事長)
13:05-13:10	こども家庭庁母子保健課あいさつ	木庭 愛 (こども家庭庁成育局母子保健課・課長)
13:10-13:15	厚生労働省難病対策課あいさつ	山本 博之 (厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課・課長)

I. マススクリーニング関連情報紹介

13:15~14:35

13:15-13:35	こども家庭科学研究の進捗状況	但馬 剛 (国立成育医療研究センター研究所)
13:35-13:55	新生児マススクリーニング検査に関する実証事業の現状について	三宅 温子 (こども家庭庁成育局母子保健課・課長補佐)
13:55-14:15	SMA新生児スクリーニング事業化に向けた医療体制	齋藤加代子 (東京女子医科大学・特任教授)
14:15-14:35	PIDスクリーニングの過去・現在と今後の見通し	今井 耕輔 (防衛医科大学校小児科学・教授)

休憩(10分) 14:35~14:45

II. 各地区の新生児マススクリーニングの現状と課題

14:45~15:15

14:45-15:00	岩手県における新生児マススクリーニングのこれまでとこれから	和田 泰格 (岩手医科大学医学部小児科学講座・講師)
15:00-15:15	山口県における新生児マススクリーニングの組織的取り組み	守分 正 (山口県新生児マススクリーニング協議会、 国立病院機構岩国医療センター・副院長/小児科)

III. マススクリーニングのトピックス

15:15~15:55

15:15-15:35	ムコ多糖症の新生児スクリーニングの現状と課題 —偽陽性・偽陰性をいかに防ぐか—	奥山 虎之 (埼玉医科大学ゲノム医療科・特任教授)
15:35-15:55	脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニングにおける 早期診断、早期治療の効果と今後の課題	栗野 宏之 (鳥取大学研究推進機構研究基盤センター・教授)

IV. 関連学会報告

15:55~16:05

15:55-16:05	米国公衆衛生試験所協会(APHL)の2024年新生児 スクリーニングシンポジウムに参加して	石毛 信之 (東京都予防医学協会 母子保健検査部・次長)
-------------	--	------------------------------

V. 患者会より

16:05~16:15

16:05-16:15	実証事業に対する患者家族の期待と要望	大山 有子 (SMA(脊髄性筋萎縮症)家族の会・会長)
-------------	--------------------	-----------------------------

総括

16:15~16:20

16:15-16:20	総括・事務連絡・閉会	但馬 剛 (国立成育医療研究センター研究所)
-------------	------------	------------------------

※各演者の講演時間=10分、15分、20分です。講演時間は発表+討論等を含みます。
※本会議の一部は、自治体から委託された精度管理経費によって開催します。

共催

一般社団法人 日本マススクリーニング学会 (理事長：大浦 敏博)
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室 (室長：但馬 剛)

後援

一般財団法人 日本公衆衛生協会 (理事長：松谷 有希雄)
NPO 法人 タンデムマス・スクリーニング普及協会 (理事長：山口 清次)

問い合わせ先

●一般社団法人 日本マススクリーニング学会 事務局
TEL: 03-6367-6224 (直通) email: info@jsms.gr.jp

●国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室 事務局
TEL: 03-5494-7133 (直通) email: dnscreening@ncchd.go.jp